

こんにちは

# 会社訪問記

建設機械、産業機械、環境関連機械メーカーとして、真正面から環境保全にトライ。

## コマツ中部支社

(愛知県一宮市)

名神高速一宮ICの西南に社屋を構えるコマツ中部支社に伺い、環境事業に対する企業としての姿勢などを志水営業担当部長にお話をいただきました。

——簡単に事業内容を教えていただけませんか。

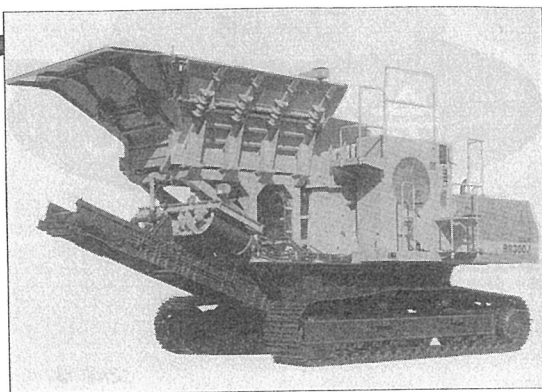
志水営業担当部長(以下志水に略)『皆さんの当社の事業に対する知識は、おおむね建設・産業・エレクトロニクスの機械メーカーとして認識されていると思います。この3つの事業にプラスして、コマツが4本目の柱として取りあげたのが“環境事業”です。』

——環境事業をスタートさせた背景にはどんな理由がありますか。

志水『建設廃棄物の増大が社会問題化している昨今、多くの建設現場等でご使用いただいている当社の建設機械は、ある意味で建設廃棄物排出の最前線にいるという強い自己認識。そして、この問題に対し責任の所在をうやむやにせず、真正面から解決にむけていま建設機械メーカーがお役に立てることを考えた結果、生まれたのが環境事業なのです。「人にやさしく、町にやさしく、地球にやさしく」を“コマツ地球憲章”として掲げ、全社を上げてリサイクル、環境対策に取り組んでまいりました。当社はリサイクルに対する姿勢として、マテリアルリサイクル、エネルギーリサイクルの2つを取り上げています。マテリアルリサイクルの結晶として、92年に発表した製品が自走式破砕機「ガラパゴス」です。』

——建設現場等で発生した建設廃棄物をその場で処理できる製品として、発表当時かなり話題になりましたね。そのネーミングの由来には特別な意味が込められているのでしょうか。

志水『ダーウィンの「種の起源」で有名な南米エクアドルの西約三千キロにあるガラパゴス諸島と建設廃棄物ガラをもじってつけた名前なんです。建設廃棄物をリサイクルすることで、リサイクル資材の起源、源流



ガラパゴス

をつくりたいという願いが込められています。また、ガラパゴス諸島に棲息するイグアナをイメージキャラクターにしており、かわいいイグアナがガラをバクバクと食べている姿も好評いただいています。』

——エネルギーリサイクルの面ではどんな製品を考えられているのでしょうか。

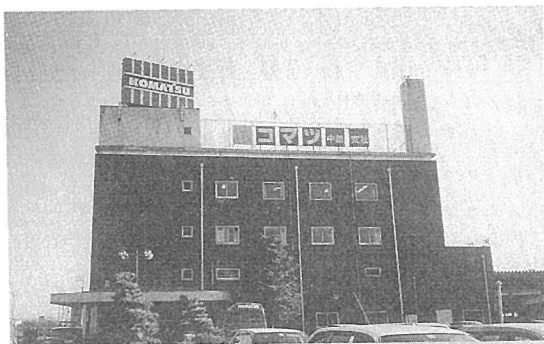
志水『エネルギーリサイクルに対しては今年早々に「貫流ボイラ焼却炉 華炎」を発表します。これはボイラーと焼却炉を一体化させた製品で、廃棄物の焼却時に発生する熱でボイラーを動かし、蒸気エネルギーとして回収するエネルギー還元を実現します。機会があれば、一度ご覧になっていただきたいですね。』

——最後に今後の展望を聞かせてください。

志水『いま申し上げた製品にとどまらず、もっと環境問題対策にお役に立てる製品をどんどんお届けしてまいりたいと思います。お客様のご意見をお聞きしながら、常にお客様と共存し、共感しながらいっしょに築いていくことが今後の目標であり展望です。』



鈴木支社長



社名/コマツ中部支社 所在地/愛知県一宮市丹陽町三ツ井字下平6  
代表者/鈴木征也(支社長) TEL./0586(77)1131  
事業内容/建設機械、産業機械、エレクトロニクス、環境関連機械